

代表質疑

9月10日に、各交渉会派（所属議員3人以上の会派）の代表者5人が、平成18年度決算について質疑をしました。要旨は次のとおりです。

安定した財源確保と効率的な市政運営を



政新クラブ 穴戸 治重 幹事長

議員 財源確保と負担の公平性の観点から、収入未済額の縮減・解消は重要な課題だ。納付機会の拡大等により、市税や保育料等の収納率向上に努めてほしい。
市長 納付機会の拡大等きめ細かな対応を図りたい。
議員 財政の健全性維持には、さらなる経常収支比率の改善や財政力指数の向上が必要だ。所見を問う。
市長 創造的自治体経営の推進により、歳出の削減・財源の確保に努めていく。
議員 経験や技能・技術を有する新規職員の採用、専門性を有する職員の養成が必要だ。取り組みを聞く。
市長 採用機会の拡大、適性や能力を生かす人事配置・研修に取り組んでいる。



指定管理者制度が導入された三鷹市民保養所「箱根みたか荘」

議員 民間委託や指定管理者制度を活用し、効率的な公共サービスの提供と職員の意識改革をさらに推進すべきだ。今後の展開を聞く。
市長 市民サービスの質を確保するため、より望ましいアウトソーシングのあり方を検討していきたい。
議員 住民サービスの電子化の推進に当たっては、一層のコスト削減に努めよ。
市長 質の高い効率的なシステムの構築・運用を図る。
議員 家庭や地域での心豊かな暮らしには、コミュニティ意識や協働意識の醸成への取り組みが必要だ。
市長 町会・自治会等と連携を強化し、地域資源を活用して取り組みを進める。
議員 憲法は現在の視点から見直すべき点が多い。多様な意見を持った市民が憲法について考える憲法記念事業が必要ではないか。
市長 多様な考え方を尊重した取り組みを行いたい。
その他の質問 基金の取り崩しと積み立て・市債発行の抑制/民生費と都市整備事業/退職職員の活用/情報化を進める人材養成について

地域課題の多様化に即応した市政運営を



公明党 川原 純子 幹事長

議員 頻発する都市型水害対策の整備状況を聞く。
都市整備部調整担当部長 雨水・汚水の分流化、雨水貯留施設など設置している。
議員 井の頭での高齢者等地域ケアサポート推進モデル事業の成果と課題、他地域への事業展開を聞く。
市長 障がい者・子育て家庭への支援強化などの検討が必要で、全市に広げていくべきと考えている。
議員 障がい者就労支援センター開設で、より充実した就労支援が期待される。取り組み状況を聞く。
市長 センターは障がい当事者や各関係機関からの相談も増え、重要な社会資源拠点となってきている。
議員 市民へのICT（情報通信技術）の活用を中心に定めたユビキタス・コミュニティ推進基本方針（案）の策定はICT活用先進地である本市ならではのものと評価している。

議員 頻発する都市型水害対策の整備状況を聞く。
都市整備部調整担当部長 雨水・汚水の分流化、雨水貯留施設など設置している。
議員 井の頭での高齢者等地域ケアサポート推進モデル事業の成果と課題、他地域への事業展開を聞く。
市長 障がい者・子育て家庭への支援強化などの検討が必要で、全市に広げていくべきと考えている。
議員 障がい者就労支援センター開設で、より充実した就労支援が期待される。取り組み状況を聞く。
市長 センターは障がい当事者や各関係機関からの相談も増え、重要な社会資源拠点となってきている。
議員 市民へのICT（情報通信技術）の活用を中心に定めたユビキタス・コミュニティ推進基本方針（案）の策定はICT活用先進地である本市ならではのものと評価している。

社会のひずみから市民を守る自治体経営を



民主党 高谷 真一朗 幹事長

議員 交付税不交付団体の本市は三位一体の改革でマインスの影響を受けた。国・都に対し改革の改善点をどのように要望したか。
市長 都に対し、新設された市町村総合交付金の充実を要望し、経営努力割の項

う努力したい。
議員 高齢者等が散歩途中などに利用する「ほっとベンチ」は市中心部以外にも積極的に設置してほしい。
第一副市長 順次、全市政の整備を進めていきたい。
議員 小・中一貫教育校のしみたか学園の取り組みを検証し、改善に取り組む必要がある。課題を聞く。
教育長 学校間等の情報連絡の円滑化や不十分であった保護者等への情報提供も



中央通りに設置された「ほっとベンチ」

今後改善していきたい。
議員 下水道台帳の電子化は集中豪雨など災害時に被害範囲の特定を容易にできる。災害対策本部との連携で期待できる効果を聞く。
都市整備部調整担当部長 道路陥没等の二次災害の防止が可能になると考える。
議員 国・都にも働きかけコンビニエンスストアなどへのAED（自動体外式除細動器）の設置を進めよ。
総務部長 働きかけたい。
議員 市内産野菜のPRと販路拡大は農地保全の一環として必要だ。三鷹駅周辺にアンテナショップのような場所を設け、積極的に販売できないか。見解を問う。
市長 市として可能な支援策を今後考えていきたい。
その他の質問 子育て支援/三鷹ネットワーク大学/自治基本条例/総合教育相談窓口/第三者評価など

構造改革の痛みから市民生活を守る施策を



日本共産党 栗原 健治 議員

議員 三位一体の改革が本市の財政を圧迫する中で、税制改正等に伴う相次ぐ負担増で市民生活は大変深刻な状況だ。この実情を市長はどう認識しているか。
市長 国や都に問題提起をするとともに三鷹市独自の減免施策を実施してきた。
議員 自治基本条例に基づき外環道計画の賛否を問う住民投票請求に対し、市長は、「必要のないもの」という意見をつけた。住民自治に反する対応ではないか。
市長 外環問題は市民の意

見を聞きながら丁寧に取り組みを進めてきた。住民投票に際しては時期的な問題等総合的に考え判断した。
議員 23区では中学生までの医療費の無料化が拡大している。子どもの医療費無料化について「選択と集中」の中でどう検討されたか。
第二副市長 本来、国の医療制度として運用すべき問題であると考えている。今後とも国や都へ強く要望したい。
議員 地域の防災拠点である学校施設の耐震化は、100%耐震化に向け、さらなる

スピードアップが必要だ。
市長 学校施設については耐震診断の結果を踏まえて実施年次を検討したい。
議員 子どもにかかわる分野は、民間委託の推進ではなく行政が直接責任を負うサービスを提供すべきだ。
市長 適切なコーディネーターや監視役を果たしていくことが必要だと考える。
議員 非核都市宣言をして

安心して暮らせる積極的な施策の展開を



にし色のつばさ 嶋崎 英治 幹事長

議員 耐震構造偽装事件が及ぼした影響をどうとらえているか。市がとった具体策とその成果を聞く。
都市整備部長 国からの依頼により市内の過去50件の構造審査を再調査した。いづれも問題はなかった。
議員 三位一体改革などにより、市民及び市は影響を受けた。医療制度改革や介護保険の見直し、障害者自立支援法への対応など、最も身近な政府として、市はセーフティネットの機能をどう果たしてきたのか。
市長 市独自のセーフティネットの機能を果たす上で最善の努力をしてきた。
議員 三鷹ネットワーク大学の成果と課題をどのように総括しているのか。財政負担も含めた所見を問う。
市長 学習成果や開発研究の成果が市政にプラスに反映されることが重要だ。市との連携を図りながら、三鷹ネットワーク大学推進機構の自立性を高め、市の財政負担の軽減に努めたい。

いる三鷹市としての平和事業のあり方を聞く。
市長 これからも積極的平和の視点から、非核・平和施策を推進していきたい。
その他の質問 パブリックコメント/介護保険制度/障害者自立支援法/個人住宅等の耐震化/少人数学校/学校のクーラー設置/コミュニティバス/商工振興/国民保護計画について

代表質疑の模様は市議会ホームページ（1面題字下参照）の本案議録画面中継でご覧いただけます。